

# 建設業ってどういう仕事？

人々が生活するために必要なものや、より便利な暮らしができるようにするものをつくるのが建設業の仕事です。私たちが毎日過ごす住宅や学校、会社などの建物に加え、ガスや電気の設備といった生活に関わるもの、人々の行き来をつなぐ道路や鉄道のように交通に関わるもの、さらには堤防やダムなど防災に関わるもの。それらすべてをつくり、守る。建設業は言わば街そのものであり、私たちにとって最も身近にある職業なのかもしれません。

建設業は大きく「土木」と「建築」の2つの業種に分けることができます。

## 土木

自然を相手に道路やトンネル、橋などをつくったり、護岸工事をして水害に備えたりするのが「土木の仕事」。人々が便利に暮らしていくための社会基盤(インフラ)をつくっています。

## 建築

私たちが住む家・マンションや、さまざまなお店、学校・病院・駅や図書館などの公共施設等、普段当たり前のように利用している建物のすべてをつくっているのが「建築の仕事」です。

## 暮らしをつくる

建設業は、道路・河川・橋などの社会資本創出を推進し、家・学校・病院などの身近な施設を整備して、便利で快適な生活をつくり出します。



新奈良県総合医療センターと石木城線



京奈和自動車道大和御所道路「御所南IC～五條北IC間」開通

## 建設業が担う役割



## 経済を支える

建設業は、ものづくりの楽しさを感じ、社会に役立つ仕事として、やりがいがある、未来に夢が持てる産業として、地域で働く人々と働く場所を生み出し、経済の発展に貢献しています。



大和まほろばスマートICと昭和工業団地

## いのちを守る

建設業は、災害に強い社会基盤整備を進めるとともに、台風や地震などの災害がおきた時にはすみやかな復旧作業を行い、地域の安心・安全を守っています。



急傾斜地崩壊対策事業(宇陀市菟田野下芳野)

## 「住んで良し」、「働いて良し」、「訪れて良し」の奈良県をつくる建設業の人材育成のために

奈良県では、建設業界の人材を確保・育成するため、建設業の魅力を伝える様々な取組を実施しています。

### ワクワクけんせつ体験

平成29年11月11日(土)と12日(日)の2日間、県と国土交通省、建設業界が連携して、将来を担う子供たちに建設業に触れる機会を提供する「ワクワクけんせつ体験」を「奈良まほろば市」と同時開催し、延べ4600名の方に参加していただきました。



### 一日インターン

平成29年8月30日(水)に、高校生・専門学校生・大学生等に将来の進路選択の参考となる機会を提供するため、建設現場視察と建設体験のツアーを実施し、30名の方に参加していただきました。

